

非ホジキンリンパ腫（進行・再発） 2nd、3rd Line DeVIC療法

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Dc	HEIGHT01_Dc	#VALUE!

アルコールアレルギー 必ず無いことを確認し選択

投与スケジュール: 1コース 21日間 目標: 2~6コース

《使用薬剤》

カルボプラチン (CBDCA) : (カルボプラチン) 150mg/15mL/V、450mg/45mL/V
 エトポシド (VP-16) : エトポシド点滴静注液 100mg/5mL/V
 イホスファミド (IFM) : (イホファミド) 1000mg/V

使用基準:

- ※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意 (血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症
- ※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
- ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
カルボプラチン (CBDCA)	300 mg/m ²	#VALUE!		1
エトポシド (VP-16)	100 mg/m ²	#VALUE!		1~3
イホファミド (IFM)	1500 mg/m ²	#VALUE!		1~3

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日: 1月1日 (金) Day1

時刻	①	②	③	④	④'	⑤	⑥	⑦
0時00分	①							
		生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 6.6mg 5V 15分で点滴静注						
0時15分		②	生理食塩液 250mL + カルボプラチン (CBDCA) 0mg				0.0mL	
			1時間で点滴静注					
1時15分		③	生理食塩液 500mL + エトポシド (VP-16) 0mg				0.0mL	
			90分で点滴静注					
2時45分		④	生理食塩液 250mL + イホファミド (IFM) 0mg					
			2時間で点滴静注					
2時45分		④'	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン3A (イホファミド投与時)					
			15分で点滴静注					
4時45分		⑤	生理食塩液 50mL フラッシュ					
6時45分		⑥	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン3A (イホファミド4時間後)					
			15分で点滴静注					
10時45分		⑦	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン3A (イホファミド8時間後)					
			15分で点滴静注					

Day2~3: 1月2日 (土) ~ 1月3日 (日)

時刻	①	②	③	③'	④	⑤	⑥
0時00分	①						
		生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 6.6mg 5V 15分で点滴静注					
0時15分		②	生理食塩液 500mL + エトポシド (VP-16) 0mg				0.0mL
			90分で点滴静注				
1時45分		③	生理食塩液 250mL + イホファミド (IFM) 0mg				
			2時間で点滴静注				
1時45分		③'	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン3A (イホファミド投与時)				
			15分で点滴静注				
3時45分		④	生理食塩液 50mL フラッシュ				
5時45分		⑤	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン3A (イホファミド4時間後)				
			15分で点滴静注				
9時45分		⑥	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン3A (イホファミド8時間後)				
			15分で点滴静注				

REFERENCE

岡本昌隆, 丸山文夫, 都築基弘 他: 臨床血液 Vol. 35(1994), No. 7 pp. 635-641
 初回寛解導入不応、および再発非Hodgkinリンパ腫に対するdexamethasone, etoposide,
 ifosfamide, carboplatin併用療法の治療成績 - 寛解導入効果を中心に -
 2010年11月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2010年11月8日 更新: 2016年2月8日